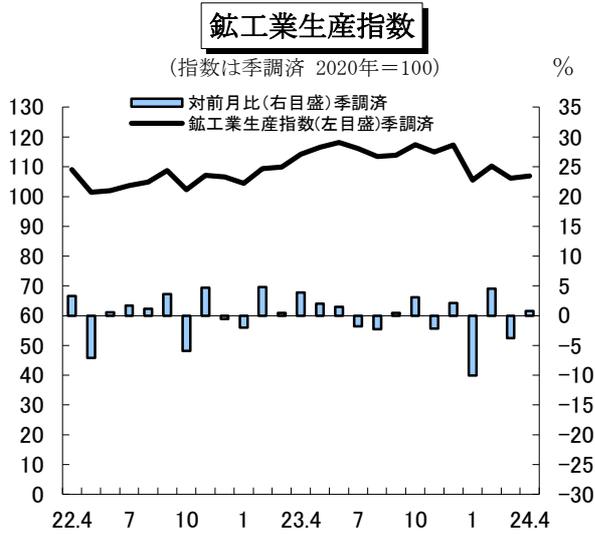


あいち経済の動き（月報）

（2024年4月分）

生産：鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月比0.8%の上昇



資料:愛知県県民文化局

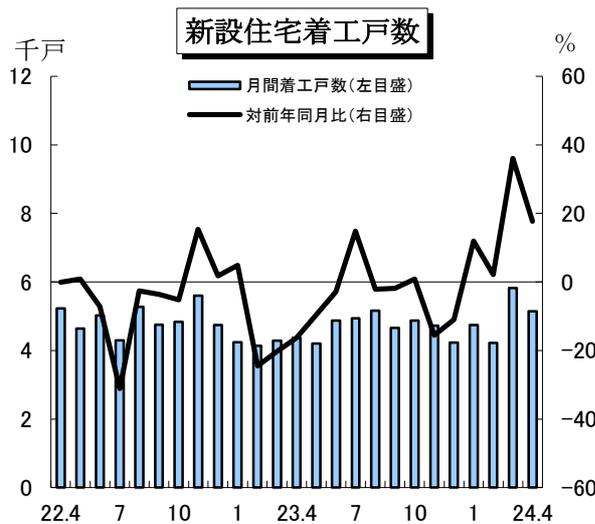
2024年2月	3月	4月
→	↘	→

主な指標の動き

鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比で、生産用機械工業が17.3%上昇するなど、全体で0.8%の上昇となりました。

また、鉱工業生産指数(原指数)は、前年同月比で、輸送機械工業が9.2%低下するなど、全体では4.6%の低下となりました。

投資（住宅建設）：新設住宅の月間着工戸数は、前年同月比17.7%の増加



資料:国土交通省

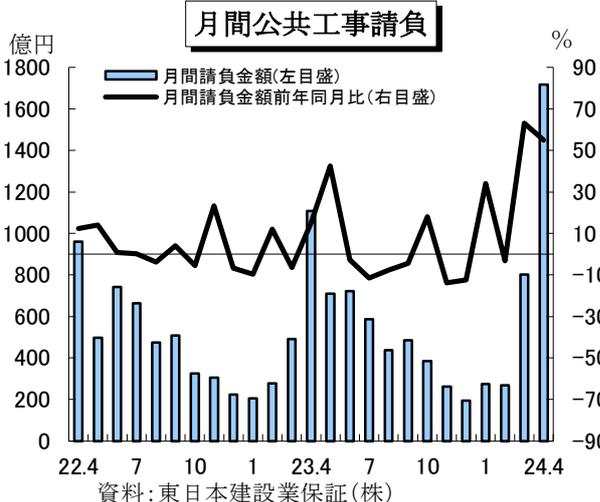
2024年2月	3月	4月
→	↗	↗

主な指標の動き

新設住宅の月間着工戸数は、前年同月比で17.7%増となり、4か月連続の増加となりました。

内訳は、給与住宅が288.0%、分譲住宅が23.7%、貸家が18.7%、持家が3.0%増加となりました。

投資（公共工事）：公共工事の月間請負金額は、前年同月比55.0%の増加



資料:東日本建設業保証(株)

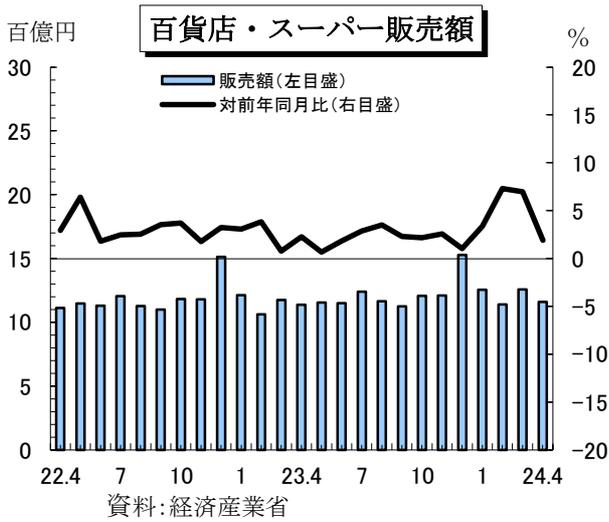
2024年2月	3月	4月
→	↗	↗

公共工事の月間請負金額は、前年同月比で55.0%増となり、2か月連続の増加となりました。

月間請負件数は、前年同月比で16.4%増となり、3か月ぶりに増加となりました。

※上記の矢印の向きは月間請負金額を示すもの。

個人消費：百貨店・スーパー販売額は、前年同月比1.9%の増加



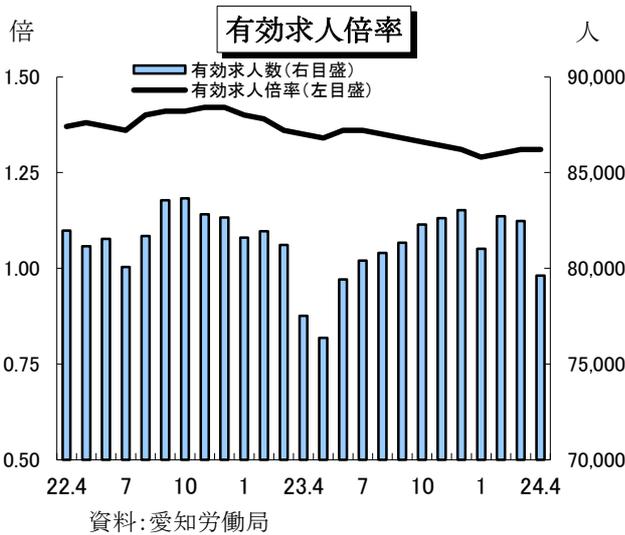
2024年2月	3月	4月
↗	↗	→

主な指標の動き

百貨店・スーパー販売額は、前年同月比で1.9%増となり、26か月連続の増加となりました。

百貨店販売額は、衣料品が8.9%増となるなど、全体では6.9%の増加となりました。スーパー販売額は、飲食料品が0.2%増となるなど、全体では0.0%の横ばいとなりました。

雇用：有効求人倍率は、1.31倍



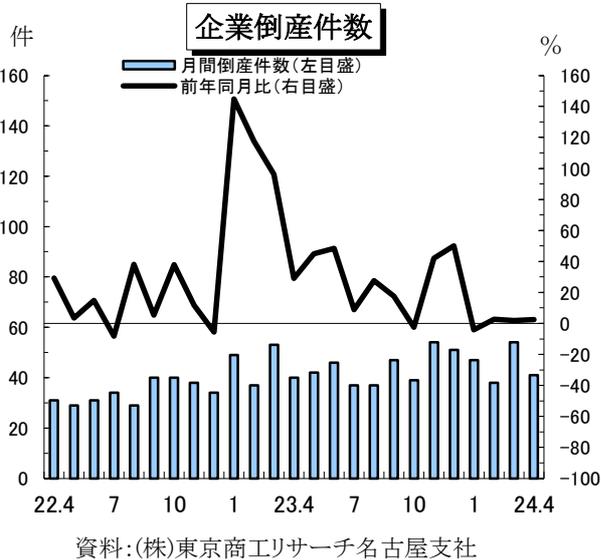
2024年2月	3月	4月
→	→	↗

主な指標の動き

有効求人倍率は、1.31倍と2か月連続の同水準となりました。

有効求人数は、前年同月比で2.7%増となり、3か月連続の上昇となりました。

企業（倒産）：月間倒産件数は、前年同月比2.5%の増加



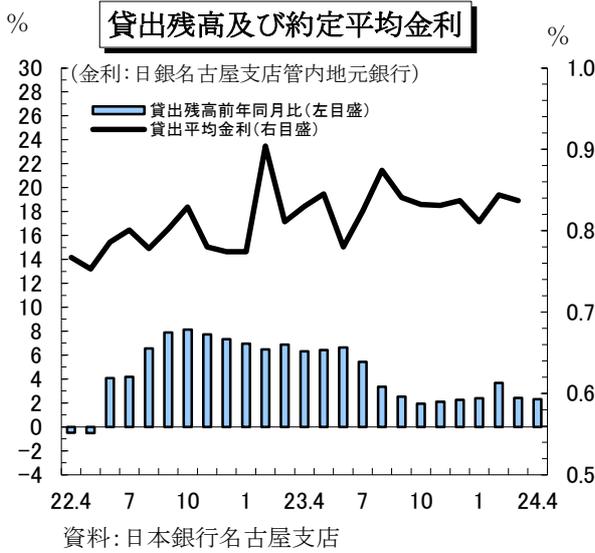
2024年2月	3月	4月
→	→	→

主な指標の動き

企業の月間倒産件数は41件と、前年同月比では2.5%増となり、3か月連続で増加となりました。

業種別にみると、倒産件数の多い順にサービス業他が16件、建設業が12件、卸売業、小売業が各4件、製造業が3件、運輸業が2件となっています。

企業（金融）：貸出残高は、前年同月比2.3%の増加



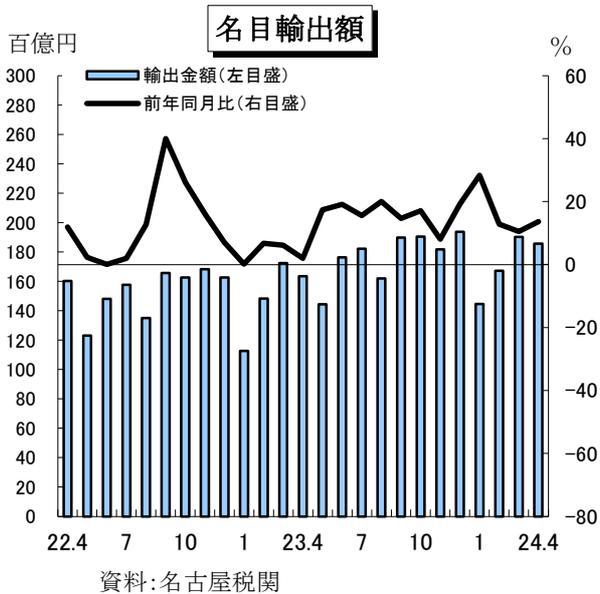
2024年2月	3月	4月
↗	↗	→

主な指標の動き

貸出残高は、前年同月比で2.3%増となり、23か月連続の上昇となりました。

※上記の矢印の向きは貸出残高を示すもの。

貿易（輸出）：名目輸出額は、前年同月比13.6%の増加



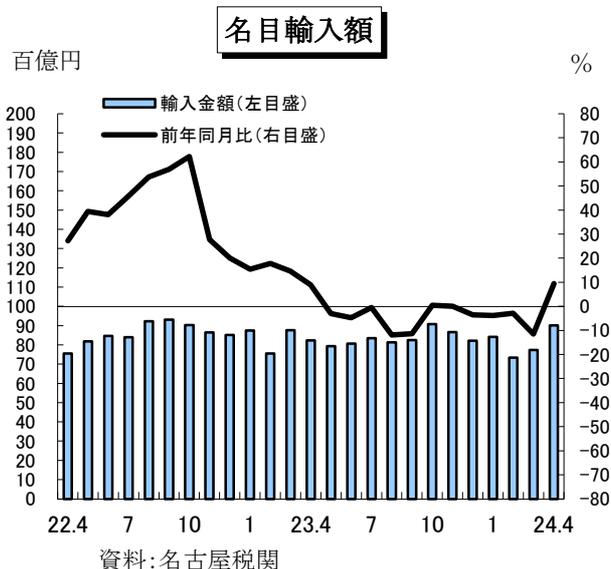
2024年2月	3月	4月
↗	→	→

主な指標の動き

名目輸出額は、前年同月比で13.6%増となり、27か月連続の増加となりました。

地域別にみると、北米向けが30.5%、アジア向けが7.1%増加したものの、EU向けは9.6%の減少となりました。

貿易（輸入）：名目輸入額は、前年同月比9.5%の増加



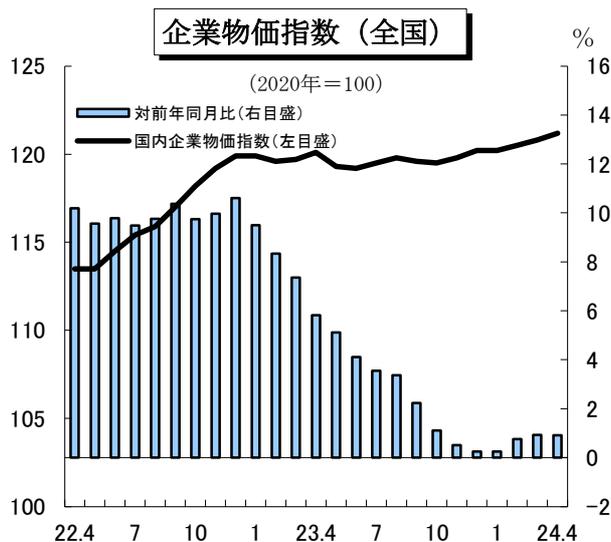
2024年2月	3月	4月
↘	↘	↗

主な指標の動き

名目輸入額は、前年同月比で9.5%増となり、5か月に増加となりました。

地域別にみると、北米からの輸入が28.1%、アジアから13.2%それぞれ増加したものの、EUからは18.1%の減少となりました。

物価（企業物価）：企業物価指数は、前年同月比0.9%の上昇



資料：日本銀行

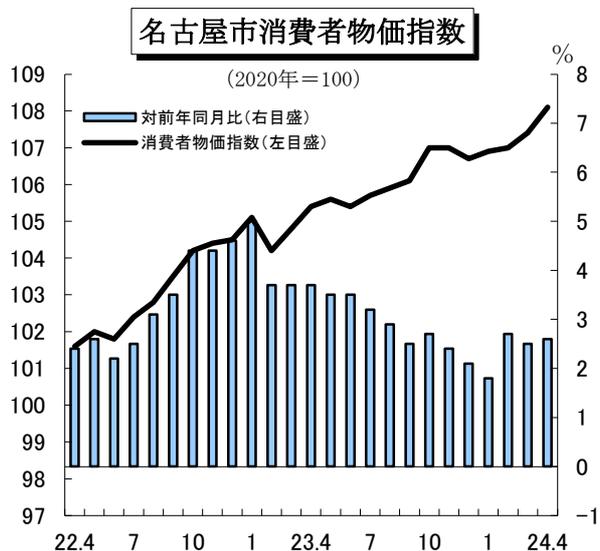
2024年2月	3月	4月
→	→	→

主な指標の動き

国内品の企業物価指数は、121.2となり、前年同月比で0.9%上昇し、38か月連続の上昇となりました。

前月比では0.3%の上昇となりました。

物価（消費者物価）：名古屋市消費者物価指数は、前年同月比2.6%上昇



資料：総務省統計局

2024年2月	3月	4月
→	↗	↗

主な指標の動き

名古屋市消費者物価指数(総合)は、108.1となり、前年同月比で2.6%上昇し、30か月連続の上昇となりました。

前月比では0.7%の上昇となりました。

(注) 矢印は、3か月前比を中心に変化の方向を表すため、毎月の変動とは異なる場合があります。

経済指標の矢印判定の推移

	2023年 11月	12月	2024年 1月	2月	3月	4月
生産	→	→	↘	→	↘	→
投資(住宅建設)	↘	↘	↗	→	↗	↗
投資(公共工事)	↘	↘	↗	→	↗	↗
個人消費	→	→	→	↗	↗	→
雇用	→	→	→	→	→	↗
企業(倒産)	↘	↘	↗	→	→	→
企業(金融)	→	→	↗	↗	↗	→
貿易(輸出)	→	↗	↗	↗	→	→
貿易(輸入)	→	→	↘	↘	↘	↗
物価(企業物価)	→	→	→	→	→	→
物価(消費者物価)	↗	↗	→	→	↗	↗
↗	1	2	5	3	5	5
→	6	5	4	6	4	5
↘	3	3	2	1	2	0
⇨	1	1	0	1	0	1

(注) 水平矢印の黒色・白色は直近の上向き・下向き矢印に依存する。

あいち経済の動き・矢印判定基準等

		使用データ	矢印判定基準
生産		愛知県県民文化局統計課「愛知県鉱工業指数」 ／生産指数（鉱工業）	↑：前月比3%以上プラスかつ対3か月前比プラス ↓：前月比3%以上マイナスかつ対3か月前比マイナス →：上記以外
投資	住宅建設	国土交通省「住宅着工統計」／新設住宅着工件数	↑：月間着工戸数の対前年同月比3%以上プラスかつ同士の対3か月前比プラス ↓：月間着工戸数の対前年同月比マイナスかつ同士の対3か月前比マイナス →：上記以外
	公共工事	東日本建設業保証㈱「公共工事前払金保証統計」／月間請負金額	↑：対前年同月比3%以上プラスかつ同士の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同士の対3か月前比マイナス →：上記以外
個人消費		経済産業省「商業動向統計」のうち「業態別、都道府県別、商品別販売額等」 ／大型小売店販売額合計（百貨店＋スーパー）	↑：対前年同月比5%以上プラスかつ同士の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同士の対3か月前比マイナス →：上記以外
雇用		愛知労働局「最近の雇用情勢」／有効求人倍率	↑：有効求人倍率1超かつ対3か月前比プラスの場合又は有効求人倍率対前月0.1ポイント以上プラスで、かつ対3か月前比0.2ポイント以上プラスの場合 ↓：有効求人倍率1未満かつ対3か月前比マイナスの場合又は有効求人倍率対前月0.1ポイント以上マイナスで、かつ対3か月前比0.2ポイント以上マイナスの場合 →：上記以外
企業	倒産	(株)東京商工リサーチ名古屋支社「東海三県下企業倒産動向」	↑：月間倒産件数の対前年同月比マイナスかつ同士の対3か月前比マイナス ↓：月間倒産件数の対前年同月比5%以上かつ同士の対3か月前比プラス →：上記以外
	金融	日本銀行名古屋支店「都道府県別預金、現金、貸出金（国内銀行）」／貸出残高	↑：対前年同月比1%以上プラスかつ同士の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同士の対3か月前比マイナス →：上記以外
貿易	輸出	名古屋税関「管内貿易概況」／名目輸出額	↑：対前年同月比5%以上プラスかつ同士の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同士の対3か月前比マイナス →：上記以外
	輸入	同上／名目輸入額	同上
物価	企業物価	日本銀行「企業物価指数」／国内企業物価	↑：対前年同月比1%以上プラスかつ対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ対3か月前比マイナス →：上記以外
	消費者物価	総務省統計局「消費者物価指数」／名古屋市（総合）	同上
区分	上昇  横ばい  下降 		

(注) 1. 矢印は、対前年比、3か月前比を中心に変化の方向を表す。

2. 「倒産」については、倒産件数が上昇の場合は“↘”を、下降の場合は“↙”を表示する。